



かなぎん  
2013

ミニディスクロージャー  
平成25年9月期 営業の中間ご報告

株式会社 神奈川銀行

# ごあいさつ

平素より神奈川銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

この度、当行をより一層ご理解いただき、身近な銀行としてご利用いただけるよう、本誌を発刊いたしました。本誌では当行の経営方針や業務の内容などを紹介しておりますのでご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、昨今の国内経済情勢は、海外経済が徐々に持ち直しに向かっていることや、国内需要が底堅く推移していることなどにより、景気は緩やかに回復しております。企業の生産活動においても、企業収益が改善するなかで持ち直しております。個人消費につきましても、雇用・所得環境に改善がみられるなかで、引き続き底堅く推移しています。

金融業界においては、金融機関の国内貸出残高は増加傾向にあるものの、貸出金利は低水準で推移しており、地域金融機関にとりまして厳しい経営環境は続いております。

このような状況の下、当行では、3か年に亘る中期経営計画『かなぎん Next Stage』を進めております。今年度は中間の年度にあたりますが、当行を取り巻く環境が大きく変化しているため、平成25年6月に重点戦略および計数目標等について見直しを行いました。計画達成に向けて、役職員全員が一丸となって努力しております。

そうしたなか、お客さまに更に充実した商品・サービスを提供することを目的として、平成25年10月に住宅ローン需要の高い横浜市北部地区にあるセンター北支店内に当行3番目となる住宅ローンセンターを開設いたしました。住宅ローンセンターでは、専門スタッフがお客さまの住宅ローンの新規借入および借換時のご相談・お申込・ご契約等に対応させていただきます。また、店舗設備においても一部店舗に全自動貸金庫を設置して、利便性の向上に努めております。

また、中小企業のお客さまや個人のお客さまに対し、金融機能が円滑に発揮できるように努めております。平成25年3月の中小企業金融円滑化法期限到来後も、当行の金融円滑化に向けた基本方針は変わるものではなく、引き続き真摯に取り組んでおります。

平成25年8月に当行は創立60周年を迎えました。これまで、永年に亘り支えていただきましたお客さまに厚く御礼を申し上げるとともに、これからも「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」を持続的な私たちの理念として、皆さまのご期待にお応えしていきたいと考えています。

どうか地域とともに歩む神奈川銀行に、今後とも、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



取締役会長

白石 健之



取締役頭取

清水 三省

## 目 次

ごあいさつ	1
経営方針	3
経営内容	4
地域貢献	6
株式会社のご案内	8
営業店一覧	8
財務諸表	9

## かなぎんの歩み

昭和28年	7月	株式会社神奈川相互銀行設立（資本金50百万円）
	8月	横浜市中区弁天通4-62において営業開始
昭和30年	5月	神奈川県中小企業会館内に本店移転
昭和51年	6月	預金業務オンライン開始
昭和53年	11月	新本店（現在地）完成、移転
昭和60年	10月	外国為替業務開始
昭和62年	6月	有価証券売買業務開始
平成元年	4月	普通銀行へ転換、株式会社神奈川銀行となる
平成 3年	1月	サンデーバンキング開始
平成 7年	1月	信託代理店業務開始
	7月	株式会社かなぎんビジネスサービス（現・連結子会社）設立
平成10年	1月	オンラインシステム「STAR-ACE」開始
	12月	証券投資信託の窓口販売業務開始
平成12年	10月	第三者割当増資により新資本金51億91百万円
平成13年	4月	住宅ローン関連の長期火災保険の窓口販売業務開始
平成14年	10月	個人年金保険の窓口販売業務開始
平成17年	12月	横浜銀行とのATM提携サービスを開始
平成18年	7月	株式会社かなぎんオフィスサービス（現・連結子会社）設立
平成19年	3月	セブン銀行とのATM提携サービスを開始
平成22年	2月	新店舗「高座渋谷支店」オープン
	12月	学資保険及び終身保険の窓口販売業務開始
平成24年	7月	新オンラインシステム「STELLA CUBE」開始

## プロフィール

名	称：株式会社 神奈川銀行
設	立：昭和28年7月30日 （営業開始：昭和28年8月14日）
本	店 所 在 地：横浜市中区長者町9-166
資	本 金：5,191百万円
預	金：4,064億円
貸	出 金：3,039億円
自	己資本比率：8.50%（単体、国内基準）
店	舗 数：34店舗
従	業 員 数：396人
ホ	ームページアドレス： <a href="http://www.kanagawabank.co.jp">http://www.kanagawabank.co.jp</a> （平成25年9月30日現在）

# 経営方針

## 第9次中期経営計画「かなぎん Next Stage」平成24年4月1日～平成27年3月31日（3か年計画）

当行では第9次中期経営計画「かなぎん Next Stage」を策定し、平成24年4月1日から実施しております。「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」を永続的な私たちの理念とし、「地域に存在感のある銀行」を目指して、各種施策を実施してまいります。

### 私たちの理念

地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行

### 当行の目指すべき将来像

地域に存在感のある銀行を目指して

お客さまや  
地域社会との  
共存・共栄

健全経営の堅持

経営管理態勢の  
強化

組織力の強化

### 重点戦略

- 地域密着型金融の推進
- 金融円滑化の推進
- CSの向上

- コンプライアンスの徹底
- リスク管理態勢の強化
- 新システムの安定稼働

- 収益力の強化
- 効率的経営の確立
- 不良債権の圧縮および発生防止

- 活力のある組織の確立
- 人材育成

### 計数目標（平成27年3月末）

融資量

3,100億円以上  
（未残）

資金量

4,100億円以上  
（未残）

当期純利益

3億円以上

コア資本比率

8%以上

不良債権比率

4%台

# 経営内容

## I 平成25年9月期の業績概要

### 損益状況

(単位: 百万円)			
項目	平成23年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
業務純益	1,262	1,487	829
臨時損益	△753	△3,057	423
うち不良債権処理額	513	1,656	35
経常利益 (△は経常損失)	508	△1,570	1,253
中間純利益 (△は中間純損失)	128	△1,604	773

### 預金・貸出金等

(単位: 億円)			
項目	平成23年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
預金残高	3,950	4,010	4,064
貸出金残高	2,840	2,823	3,039
自己資本比率 (単体)	10.54%	9.64%	8.50%
Tier 1 比率 (単体)	9.61%	8.72%	7.58%

### ●損益状況

銀行の本業から生じる業務純益につきましては、8億29百万円となりました。

資金の効率的調達・運用による収益力の向上に取組みを行ったほか、不良債権処理額の減少や有価証券売却益を計上したことなどにより、12億53百万円の経常利益、7億73百万円の中間純利益となりました。

### ●預金

預金は、地域密着型の営業態勢を推進した結果、前年同期に比べて54億円増加し、4,064億円となりました。

### ●貸出金

貸出金は、地元企業向けの融資および住宅ローンを積極的に推進した結果、前年同期に比べて216億円増加し、3,039億円となりました。

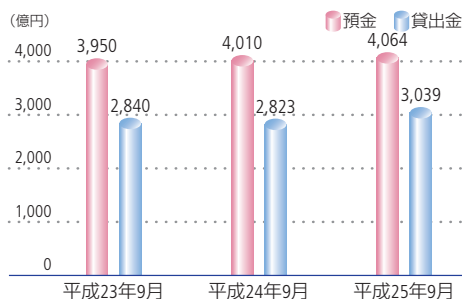
### ●自己資本比率

当行の平成25年9月末の自己資本比率は、単体8.50% (連結8.52%) と国内基準行が健全とされる4%を大きく上回っています。またTier 1 比率も単体7.58% (連結7.60%) となっています。

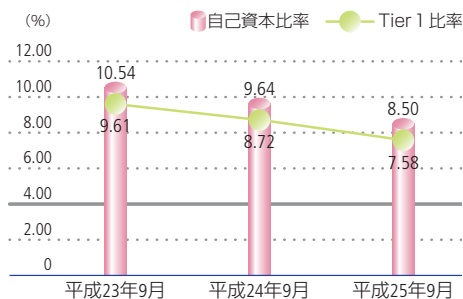
今後も良質な資産の積み上げを図るとともに、内部留保の拡充により自己資本比率の一層の向上に努めてまいります。

自己資本比率は、自己資本の総資産 (リスクアセット) に対する割合で、銀行の健全性を示す基本的かつ重要な指標です。また、Tier 1 比率は自己資本のうち基本的項目で算出した中核的自己資本比率をいいます。

### 預金・貸出金残高の推移



### 自己資本比率の推移



## 2 不良債権の状況

### ●● 不良債権の処理状況について

当行では資産の健全性強化を経営の重要課題と位置付け、不良債権への取組みを強化しております。平成25年9月期におきましても、お客さまの信頼をより強固なものとするため、将来のリスクに備えて適正に資産査定を行い、償却・引当を実施いたしました。

その結果、金融再生法の開示基準による不良債権は195億円となり、総与信に対する比率は6.42%となりました。また、これらの債権に対する担保・保証等保全額及び貸倒引当金による保全率は86.3%となっております。

### ●● 金融再生法に基づく資産査定額ならびに保全状況

(単位：億円)

区 分	平成24年度	平成25年9月期				
	債権残高	債権残高 A	担保・保証等 保全額	貸倒引当金	保全引当金計 B	保全率 B/A (%)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	36	26	10	36	100.0
危険債権	169	152	82	45	128	84.1
要管理債権	5	6	2	0	3	58.6
小計	206	195	111	57	168	86.3
正常債権	2,746	2,850				
合計	2,953	3,046				

※ これらの債権は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」第6条に基づき区分し、同法律第7条に基づき公表しています。

## 3 金融円滑化への取組みについて

当行は、地域金融機関として、中小企業のお客さまの経営課題や個人のお客さまのライフサイクルに応じた支援を最重点施策の一つとして位置付けております。

当行は、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の期限到来後もこれまでと同様に、お借入をご利用のお客さまからのご相談に真摯かつ迅速に取り組んでまいります。

各営業店にはお客さまからのお借入条件変更等のご相談をお受けする「融資ご返済相談窓口」を設置し、「融資ご返済相談窓口担当者」を配置しています。

また、金融円滑化に関するご意見・ご要望・苦情等については各営業店に配置している「お客さま相談員」のほか、本部コンプライアンス統括部内の「お客さま相談窓口」が承ります。

<ご利用中のお借入のご返済に関するご相談>

○お取引のある店舗の「融資ご返済相談窓口担当者」までご相談ください。

(連絡先は8ページの「営業店一覧」をご覧ください。)

受付時間：<お電話>午前9時から午後5時まで (銀行休業日は除きます)

<窓 口>午前9時から午後3時まで (銀行休業日は除きます)

<ご意見・ご要望・苦情等>

○各営業店の「お客さま相談員」または本店「お客さま相談窓口」(045-261-2641代表)が承ります。

受付時間：<お電話>午前9時から午後5時まで (銀行休業日は除きます)

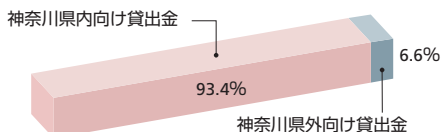
## 1 地域への信用供与

当行は地域金融機関として、地域のお客さまからお預かりした大切な預金の多くを、地元である神奈川県内の中小企業や個人への貸出に向けています。

### ●●● 県内貸出に特化

当行の神奈川県内のお客さま向け貸出金残高は2,838億円であり、貸出金全体に占める割合は93.4%となっております。

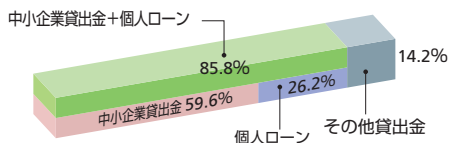
神奈川県内向け貸出金割合（平成25年9月30日現在）



### ●●● 個人・中小企業貸出に特化

個人・中小企業向け貸出金残高は2,608億円であり、貸出金全体に占める割合は85.8%となっております。

個人・中小企業向け貸出金割合（平成25年9月30日現在）



### ●●● 経営改善支援

本部企業支援室と各営業店が連携し、お取引先とのコミュニケーションを密にすることで、経営改善計画の作成・実行などのサポートを行っています。

また、第二地方銀行協会などが主催する事業再生研修への参加や、融資渉外担当者を対象とした行内研修を実施するなど、行員のスキルアップを図っております。

平成25年9月期は、ご支援先62先に対し、債務者区分のランクアップ2先という実績でした。

債務者区分		経営改善支援 取組み先	うち平成25年9月期に 債務者区分が上昇した 先	うち平成25年9月期に 債務者区分が変化しな かった先
正常先		—	—	—
要注意先	その他要注意先	49	2	47
	要管理先	—	—	—
破綻懸念先		12	—	11
実質破綻先		1	—	1
合計		62	2	59

## 2 地域サービスの充実

### ●●● かなぎん懇話会開催

株主・お取引先の皆さまを対象に当行の経営内容および経営課題などについてご理解を深めていただくため、平成25年7月に「第12回かなぎん懇話会」を開催しました。

また、情報交換やビジネスマッチングの場としても活用していただくために、参加されるお取引先企業のプロフィールを冊子にとりまとめ事前配布し、当日には個別商談の場を設けました。



### ●●● 当行創立60周年行事

平成25年8月に当行は創立60周年を迎えました。お客さまや地域の皆さまに感謝をこめて、ボランティア活動、子ども金融教育・見学会、当行年表・店舗写真の店頭掲示等を実施いたしました。ボランティア活動は、神奈川県葉山町の竹林整備活動および横浜市の下公園周辺の清掃活動に参加しました。子ども金融教育・見学会は、小学生を対象に、本店見学、紙幣の数え方の練習、1億円や硬貨の重さを実感するなどの体験を通じて、銀行の仕事や役割について学んでもらいました。



<竹林整備活動>



<子ども金融教育・見学会>

### ●●● 住宅ローンセンターの設置

当行は、お客さまの更なる利便性の向上を図るため、平成25年10月にセンター北支店内に当行3番目の住宅ローンセンターを開設いたしました。住宅ローンセンターでは、専門スタッフが住宅ローンの新規借入および借換時のご相談・お申込・ご契約等に対応させていただきます。



# 株式会社のご案内／営業店一覧

## 株式会社のご案内

### 1. 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### 2. 定時株主総会

毎事業年度末日から3カ月以内に開催いたします。

### 3. 配当金

(1) 期末配当金は、3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、取締役会の決議によりお支払いいたします。

(2) 中間配当金は、取締役会の決議により9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。

なお、期末配当金及び中間配当金のお受け取りは、お近くの当行本店の預金口座振込をご指定くださいますと早くして便利です。ご利用ください。

### 4. 株式事務取扱場所及び取次所

株式の名義書換え、単元未満株式の買取り、その他株式に関する事務は、下記株主名簿管理人においてお取り扱いいたします。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

【郵便物送付先／各種お問合せ先】

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (通話料無料)

[受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]

ホームページアドレス: <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### 5. 公告掲載新聞

横浜市において発行する神奈川新聞に掲載いたします。

## 営業店一覧

店舗名	所在地	電話番号
本店	横浜市中区長者町9-166	(045) (261) 2641(代)
洪福寺支店	横浜西区浅間町5-384-1	(045) (311) 3021(代)
横浜橋通支店	横浜南区真金町1-1	(045) (231) 7035(代)
上大岡支店	横浜港南区大久保1-20-54	(045) (842) 1861(代)
六角橋支店	横浜市神奈川区六角橋2-28-22	(045) (481) 6345(代)
中田支店	横浜市泉区中田南3-1-7	(045) (802) 1365(代)
富岡支店	横浜市金沢区富岡西7-15-17	(045) (771) 3651(代)
井土ヶ谷支店	横浜南区井土ヶ谷上町21-36	(045) (712) 2111(代)
芹ヶ谷支店	横浜港南区芹が谷2-8-33	(045) (823) 1351(代)
蒔田支店	横浜南区榎町2-41	(045) (742) 2611(代)
本牧支店	横浜市中区本牧三之谷3-23	(045) (623) 3811(代)
末吉支店	横浜市鶴見区上末吉5-5-22	(045) (575) 2323(代)
瀬谷支店	横浜市瀬谷区南台2-11-3	(045) (303) 0321(代)
岡村支店	横浜市磯子区岡村8-1-28	(045) (761) 3314(代)
根岸支店	横浜市磯子区西町4-19	(045) (754) 3311(代)
弥生台支店	横浜市泉区弥生台13-6	(045) (813) 3711(代)
横浜西口支店	横浜市神奈川区鶴見町2-23-2 T5プラザビル1F	(045) (411) 2011(代)
(住ロ-ンセンター)	横浜西口支店内	(045) (411) 2027(代)
戸部支店	横浜西区中央1-8-20	(045) (319) 1385(代)
センター北支店	横浜市都筑区中川中央1-29-24	(045) (910) 2230(代)
(住ロ-ンセンター)	センター北支店内	(045) (911) 0808(代)
横須賀支店	横須賀市日の出町1-15-1	(046) (823) 1480(代)
長井支店	横須賀市長井1-17-20	(046) (856) 3141(代)
平塚支店	平塚市平塚2-31-9	(0463) (31) 2981(代)
茅ヶ崎支店	茅ヶ崎市共恵1-2-24	(0467) (82) 7171(代)
(住ロ-ンセンター)	茅ヶ崎支店内	(0467) (87) 8411(代)
辻堂支店	藤沢市辻堂1-1-15	(0466) (36) 3155(代)
藤沢支店	藤沢市鶴沼石上1-5-7	(0466) (23) 2641(代)
六会支店	藤沢市亀井野2-3-1	(0466) (82) 0551(代)
川崎支店	川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル1F	(044) (244) 7538(代)
中原支店	川崎市中原区市ノ坪30-1	(044) (722) 9121(代)
渡田支店	川崎市川崎区渡田向町29-16	(044) (245) 9781(代)
相模台支店	相模原市南区松が枝町24-10	(042) (743) 4511(代)
下大槻支店	秦野市下大槻410	(0463) (77) 2567(代)
桜ヶ丘支店	大和市福田5528	(046) (268) 1001(代)
高村支店	平塚市高村203	(0463) (34) 1011(代)
高座渋谷支店	大和市福田2021-2	(046) (267) 9921(代)

(平成25年11月30日現在)

# 財務諸表 (連結・単体)

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	4,830	預金	406,368
コールローン及び買入手形	9,451	借入金	6,190
金銭の信託	500	その他負債	2,540
有価証券	117,934	賞与引当金	64
貸出金	303,944	退職給付引当金	615
外国為替	38	睡眠預金払戻損失引当金	57
その他資産	957	再評価に係る繰延税金負債	603
有形固定資産	4,913	支払承諾	480
無形固定資産	47	<b>負債の部合計</b>	<b>416,919</b>
繰延税金資産	1,153	<b>(純資産の部)</b>	
支払承諾見返	480	資本金	5,191
貸倒引当金	△7,365	資本剰余金	4,101
		利益剰余金	8,611
		自己株式	△49
		株主資本合計	17,854
		その他有価証券評価差額金	1,196
		土地再評価差額金	916
		その他の包括利益累計額合計	2,112
		<b>純資産の部合計</b>	<b>19,966</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>436,886</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>436,886</b>

## 中間連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
経常収益		4,729
資金運用収益	3,472	
(うち貸出金利息)	(3,074)	
(うち有価証券利息配当金)	( 388)	
役員取引等収益	436	
その他業務収益	222	
その他経常収益	597	
<b>経常費用</b>		<b>3,473</b>
資金調達費用	125	
(うち預金利息)	( 120)	
役員取引等費用	197	
その他業務費用	9	
営業経費	2,992	
その他経常費用	149	
<b>経常利益</b>		<b>1,255</b>
特別損失		1
固定資産処分損	1	
<b>税金等調整前中間純利益</b>		<b>1,253</b>
法人税、住民税及び事業税		332
法人税等調整額		148
<b>法人税等合計</b>		<b>480</b>
<b>少数株主損益調整前中間純利益</b>		<b>773</b>
<b>中間純利益</b>		<b>773</b>

中間貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

〈単体〉

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	4,830	預金	406,436
		借入金	6,190
コールローン	9,451	その他負債	2,535
		未払法人税等	343
金銭の信託	500	リース債務	258
		その他の負債	1,933
有価証券	117,954	賞与引当金	64
		退職給付引当金	615
貸出金	303,944	睡眠預金払戻損失引当金	57
		再評価に係る繰延税金負債	603
外国為替	38	支払承諾	480
		負債の部合計	416,982
その他資産	956	<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	5,191
その他の資産	956	資本剰余金	4,101
		資本準備金	4,101
有形固定資産	4,913	利益剰余金	8,567
		利益準備金	1,090
無形固定資産	47	その他利益剰余金	7,476
		別途積立金	6,492
繰延税金資産	1,153	繰越利益剰余金	984
		自己株式	△49
支払承諾見返	480	株主資本合計	17,810
		その他有価証券評価差額金	1,196
貸倒引当金	△7,365	土地再評価差額金	916
		評価・換算差額等合計	2,112
		純資産の部合計	19,922
資産の部合計	436,905	負債及び純資産の部合計	436,905

中間損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

〈単体〉

(単位：百万円)

科目	金額	
経常収益		4,728
資金運用収益	3,472	
(うち貸出金利息)	(3,074)	
(うち有価証券利息配当金)	( 388)	
役員取引等収益	436	
その他業務収益	222	
その他経常収益	597	
経常費用		3,475
資金調達費用	125	
(うち預金利息)	( 120)	
役員取引等費用	197	
その他業務費用	3	
営業経費	2,999	
その他経常費用	149	
経常利益		1,253
特別損失		1
固定資産処分損	1	
税引前中間純利益		1,251
法人税、住民税及び事業税		329
法人税等調整額		148
法人税等合計		478
中間純利益		773



# かなぎん

「かなぎん2013 ミニディスクロージャー誌」  
平成25年9月期 営業の中間ご報告  
平成25年12月発行

発行編集 神奈川銀行 総合企画部  
〒231-0033 横浜市中区長者町9-166  
TEL 045-261-2641